

## 本年度の努力事項と具体的な取り組み

## 1. デジタル系（○印：責任者） …… ○氏原、西谷、中田

- ホームページ、メーリングリスト等の管理・運営全般（担当：氏原）
  - ・従来通り
- 共有フォルダの設定、利用方法の周知、フォルダの整理・管理等（担当：氏原、西谷）
  - ・全運営委員がパソコン操作に慣れるまで保留。
  - ・無料の Google ドライブで考えている。
  - ・Google アカウント使用に不安あれば、現状メール使用 MEGA 等他の無料ツールも検討。
  - ・本部使用の Dropbox 等の有料ツールも検討。
  - ・全員に共有フォルダは必要か？過去データを雛形として利用するならメールで可。
- 定例行事のオンライン開催、支部だより編集協力等（担当：氏原、西谷、中田）
  - ・運営委員会は LINE の音声通話（必要によりビデオ通話）で行う。Wi-Fi 悪対応で音声通話開始。アンケート結果により Zoom でも開催試す。
  - ・支部総会、茶話会は Zoom で行う。LINE アカウント必要は病院等公的参加に難あり。無料 40 分制限、予約 30 分単位のため運用方法検討。個人情報保護のためメールアドレス併記禁止 Excel マクロで対応。
  - ・LINE 個人情報問題で不安を持つ方も。
  - ・支部だより編集協力には共有フォルダを利用する。
  - ・支部だよりにパソコン、テレビ操作等使用例掲載。投稿依頼。
- 香大ボランティアの Zoom 活用の有効利用について検討（担当：西谷、中田）
  - ・アンケート結果で在宅患者の希望があれば
  - ・アンケート結果で入院患者の希望かつ病院の許可があれば。家族の面会許可後か？
- パソコン勉強会等の開催[まずは初心者運営委員のパソコン技能の向上支援]（担当：氏原、中田、西谷）
  - ・まず全員がメールを使えるようになる（プロバイダー提供メール、フリーメール、メールソフト）。ノートパソコンの場合は教えてもらう場所に移動も。リモート操作で教えてもらう等。
  - ・ブラウザの検索機能で分からないことを調べる（例：Word のテキストボックスの使い方）
- 意思伝達装置等の利用患者やパソコン等利用家族への機器活用・操作等についての理解推進（担当：氏原、中田）
  - ・患者の意思伝達装置やパソコン使用状況、メールアドレス支部内公開可否アンケート
  - ・家族のパソコン等理解度アンケート
  - ・アンケート結果により今後の対応計画
- テレビ操作を患者自身が行うための機器（レッツリモコン・スイッチ等）操作等についての理解推進（担当：氏原、西谷）
  - ・入院患者のニーズ調査
  - ・支部だよりへの使用例掲載

## 2. オブザーバーへの協力依頼事項

- 患者のスイッチ選定・操作支援
  - ・患者がパソコンやテレビを操作する上で最も重要なことは、どのようなスイッチを使うか。
  - ・残存機能に応じたスイッチ選定のアドバイス。出来れば試用手配。
- リモート操作等でパソコン初心者患者・家族の支援
  - ・やって見せることで理解を助ける。
- 患者・家族のメールソフトの設定・操作支援
  - ・メールが使えるようになれば困りごとを自ら相談し解決することで達成感を持つ。
- Zoomの主催者側・参加者側の操作支援アドバイス
  - ・特に主催者側の経験が無く不安。

以上